



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

c/o YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN ☎920-0998 ☑(076)221-5398

<http://ys-saigawa.web.infoseek.co.jp/>

国際会長主題	「一つとなる力」“The Power of One”
アジア地域会長主題	「一つとなる力」“The Power of One”
スローガン	「夢見るアジア、愛するアジア」“Dreaming Asia, Loving Asia”
西日本区理事主題	「すべてのいのちを大切に—いのち・平和・環境—」 “Love & Care for All the Living Things—Life, Peace, Environment—”
中部部長主題	「ワイズの理念を胸に自信を持って活動しよう」
金沢犀川クラブ会長主題	「基本を踏まえて、もっと楽しく」 “Let's return to our beginning and enjoy volunteering again”
会長：三谷信三 副会長：川村孝治 書記：北肇夫 会計：高木啓一 直前会長：平口哲夫	

今月の聖句：また言われた。「神の国を何にたとえようか。パン種^{だね}に似ている。女がこれを取って
三サトンの粉に混ぜると、やがて全体が膨れる。」 ルカによる福音書 13. 20

2010年3月強調月間

EF・JWF

EF・JWFを通してワイズ活動を考えよう。

奥田 一彦 ファンド事業主任

☆☆☆ 3月第一例会案内☆☆☆	☆☆☆ 2月例会報告☆☆☆
<p>日 時:3月11日(木)19:00~21:00 場 所:兼六城下町“ホテル兼六”2階「時雨の間」 金沢市兼六町2-5 TEL 076-210-8111 会 費:会員2,500円、 ***プログラム***</p> <p>司 会 : 澤瀬君 開会・点鐘 : 三谷会長 ワイズソング : 一同 今月の聖句 : 司会者 ハッピーバースデー : 三谷会長 ゲスト紹介 : 三谷会長 食前の感謝 : 平口君</p> <p style="text-align: center;">——会 食——</p> <p>卓話「タクシー今昔」 : 金沢犀川クラブ 作田健意君 事業委員報告 : 各委員 ニコニコタイム : 高木君 閉会・点鐘 : 三谷会長</p> <p>*後期クラブ会費をご持参ください。 *使用済み切手をご持参ください。</p>	<p>[第一例会] 日 時:2月11日(祝・木)16:00~12日(金)10:00 場 所:山中温泉“花つばき” 出席者:水谷 宏氏・中川政毅氏(以上長浜クラブ) 川村君・北君・澤瀬君・平口君・三谷君(計7名)</p> <p>[第二例会] 日 時:2月25日(木)19:00~21:00 場 所:金沢YMCA 出席者:川村君、北君、作田君、高木君、平口君</p> <p>次期会長・主査研修会 3月13日(土)~14日(日)、 ホテル新大阪、北次期会長・平口次期中部広報主査 が出席予定。 中部評議員会・中部講演会 3月22日(月・振替休日)、 名古屋中央教会。 今月のハッピーバースデー 北 君(3月26日) 4月の当番 司会:高木君、準備:川村君 ハイチ大地震被災者支援募金 日本YMCA同盟やワイズ メンズクラブ西日本区などの呼びかけに応じ、金沢犀川 クラブとしても協力態勢をとることになりました。 ご協力をお願いします。</p>

当クラブ	2月出席者	2月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 7名	メ ン 5名	100%	前年度繰越 1,711g	2月分 7,000円
広義会員 0名	メネット 0名		2月分切手 220g	
	ビジター 2名	メイキャップ 2名	今年度累計	
	ゲスト 0名		切手 320g	
			現金 0円	
合計 7名	7名	100%	合計 2,031g	累計 66,921円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 半期を振り返って ◆

会長 三谷信三

2009-2010 年度の半期を過ぎた段階で、会長主題「基本を踏まえて、もっと楽しく」を改めて想起し、後半の活動に臨みたい。

まず、ワイズの基本として、例会出席率 100%をめざす。今年度は卓話例会を前期 3 回、後期 3 回計画した。特に前期はゲストの参加数も多く、楽しい例会を持てた。このゲスト参加者にメンバーになっていただけるような働きかけが必要である。

卓話のある第一例会の開始前にゲスト・スピーカーと役員との打ち合わせの時間をとるようにするというのが今期当初の申し合わせであった。これが十分達成できるように今後とも心がけたい。

部長公式訪問は例年通りバーベキュー例会を兼ねて行われ、快晴に恵まれた野外会場で和やかに快適なひとときを過ごすことができた。

EMC の目標は未だ達成されていない。高齢化の波が押し寄せる中、メンバー 3 名に初孫が生まれた。孫の時代に備え、新メンバー獲得に向けて奮起したい。

毎年行われる金沢市青少年団体連絡協議会主催の“ながまちふれあいフェスティバル 2009”に参加し、YMCA やワイズメンズクラブの活動を紹介したが、もっと見学者の注目をあびる企画を検討し、メンバーの参加者数も多くなるような工夫が必要であろう。

金沢クラブ・金沢犀川クラブ・金沢 YMCA 共催の“わいわい寄席”も前半期の恒例行事となり、好評を博してきたが、観客の固定化を脱するには、新たな試みが必要である。次回は金沢犀川クラブが当番であることから、すでに開催日時・会場を決め、当クラブの担当委員(川村・北・平口)も選出して準備を進めている。

◆ 2 月新春特別例会に参加して ◆

平口哲夫

2 月 11 日(木・祝)から一泊二日掛けで山中温泉“花つばき”にて 2 月新春特別例会が開催された。今回はあいにくメンバー 2 名が欠席だったが、長浜クラブの水谷宏会長と中谷政毅交流委員長がご臨席くださり、会員数と同じ 7 名の参加者となった。長浜クラブのお二方に厚く感謝申し上げる。

17:30 からメンバーのみによる議事があり、次期役員・委員については、会長(北)、副会長(澤瀬)、書記(高木)、会計(川村)、直前会長(三谷)、Y サ・ユース(北)、交流(三谷)、地域奉仕・環境(作田)、ファントム(川村)、EMC(澤瀬)、ブリテン(高木)、広報・メール(平口)、次期中部広報事業主査(平口)とすることを確認したほか、半期の反省と評価、次年度諸行事の検討、チャーター 20 周年記念行事(2013 年 6 月 12 日)、ハイチ地震被害者救援募金など、多岐にわたる事柄について熱心に話し合い、時間が足りないくらいであった。

18:30 からゲストを迎えて恒例のプログラムが始まり、会食へと進んだ。私は「カラオケがあれば、長浜の名が出てくる“琵琶湖周航の歌”を歌い、歓迎の意を表したい」というような挨拶をしたような覚えがある。残念ながら、めずらしくカラオケの用意はなされていなかった

が。宴会の最後に撮った記念写真には、宿の仲居さんにも入っていただいた。出身は北海道とのこと。



この温泉宿は、神仙峡畔にあり、自家源泉野天風呂“湯畑”がご自慢の一つ。湯あみを着て男女混浴の湯船を渡り歩くことができる。雪ちらつく中での、この体験は野趣あふれるものであった。翌日、宿を立つ前にロビーでコーヒーを飲んでいるとき、挨拶に来られた女将の嘉野房子さんに、故・川上メンゆかりの宿であることなど、三谷会長が話しておられた。

◆ 神戸クラブ創立 80 周年記念例会参加記 ◆

三谷信三

尼崎に勤務していたころ大阪土佐堀クラブの例会に出席しており、尼崎に新クラブ設立のためチャーターメンバーとして参加を求められた。そのホストクラブが神戸クラブであった。40 数年ぶりに、今井元神戸 Y 総主事、木島元神戸 Y 主事、石坂元副会長をはじめ懐かしい方々と懇談し、設立以来のご苦勞を思い出した。またこの席で新しい出会いがあった。大阪豊中クラブ和田早苗会長が私の席へ来られて、「金沢犀川クラブのブリテンを読んでいるが、良くできているので、これからも読ませていただく。讚美歌のメロディーが流れるのがとても良い。」とのお褒めの言葉をいただいた。このクラブは設立 43 年の歴史がある。西日本区大会での再会を約した。

◆ 世界連邦運動とクリスチャン(その 2) ◆

平口哲夫

昨年亡くなられた世界連邦運動協会会長・植木光教先生(1927-2009)は、1963 年参議院京都府補欠選挙で当選、1974 年三木内閣で総理府総務長官兼沖縄開発庁長官に就任なさいました。生前、植木先生のことについてよく存じ上げなかったものの、追悼会で参加者から伺った話にとっても感銘を受け、先生についてインターネットにどの程度掲載されているか調べてみたことがあります。その結果、フリー百科事典『ウィキペディア』に「クリスチャンでもあったため、東大 YMCA 代表も務めた」と記されていることが分かりました。

植木先生は沖縄開発庁長官退任後も沖縄県民との親密な交流を続けられ、たとえば八重山農林高校の庭に建立された記念碑には「愛に生きる」という、先生の信条が刻まれているということも、ネット掲載の石垣市長メッセージ(2002.9.19)によって知りました。